

第2次気候変動影響評価対象項目分類の変更について

資料2-4

(網掛け部分：第2次影響評価で追加又は名称が変更となった小項目)

分野	大項目	小項目（第1次影響評価）	小項目（第2次影響評価）	備考
農業・林業・水産業	農業	水稻	水稻	
		野菜	野菜	
		果樹	果樹	
		麦、大豆、飼料作物等	麦、大豆、飼料作物等	「お茶」は「麦、大豆、飼料作物等」に含む
		畜産	畜産	
		病虫害・雑草	病虫害・雑草	
		農業生産基盤	農業生産基盤	
		—	食料需給	日本の穀物主要輸入国トップ3における気候変動影響をまとめる想定。貿易等の経済分析を含めた内容は、産業・経済活動分野で扱うなど、内容を検討しつつ検討したい。
	林業	木材生産（人工林等）	木材生産（人工林等）	
		特用林産物（きのこ類等）	特用林産物（きのこ類等）	
水産業	回遊性魚介類（魚類等の生態）	回遊性魚介類（魚類等の生態）		
	増養殖等	増養殖等		
水環境・水資源	水環境	湖沼・ダム湖	湖沼・ダム湖	
		河川	河川	
		沿岸域及び閉鎖性海域	沿岸域及び閉鎖性海域	
	水資源	水供給（地表水）	水供給（地表水）	
		水供給（地下水）	水供給（地下水）	
	水需要	水需要		
自然生態系	陸域生態系	高山帯・亜高山帯	高山帯・亜高山帯	
		自然林・二次林	自然林・二次林	

分野	大項目	小項目（第1次影響評価）	小項目（第2次影響評価）	備考
自然生態系		里地・里山生態系	里地・里山生態系	
		人工林	人工林	
		野生鳥獣の影響	野生鳥獣の影響	
		物質収支	物質収支	
	淡水生態系	湖沼	湖沼	
		河川	河川	
		湿原	湿原	
	沿岸生態系	亜熱帯	亜熱帯	
		温帯・亜寒帯	温帯・亜寒帯	
	海洋生態系	—	—	
	生物季節	—	—	
分布・個体群の変動	—	—		
	—	生態系サービス	最終的な知見の数や質を踏まえ、項目として独立させるかどうか検討する。	
自然災害・沿岸	河川	洪水	洪水	
		内水	内水	
	沿岸	海面上昇	海面上昇	
		高潮・高波	高潮・高波	
		海岸侵食	海岸侵食	
	山地	土石流・地すべり等	土石流・地すべり等	流木による被害についても内容に含める。
	その他※	強風等	強風等	
—	—	（複合災害）	小項目としては取扱わないが、土砂・洪水氾濫等の複合災害について影響評価報告書本文に記載する。	
健康	冬季の温暖化	冬季死亡率	冬季死亡率等	死亡リスクだけではなく、疾患リスクも考えられるが、国民にとってなじみにくいため、「等」を付記する。）
	暑熱	死亡リスク	死亡リスク等	

分野	大項目	小項目（第1次影響評価）	小項目（第2次影響評価）	備考
健康		熱中症	熱中症等	
	感染症	水系・食品媒介性感染症	水系・食品媒介性感染症	
		節足動物媒介感染症	節足動物媒介感染症	
		その他の感染症	その他の感染症	
	その他	—	温暖化と大気汚染の複合影響	個別委員ヒアリングによるご意見から小項目を新たに設定。
		—	脆弱性が高い集団への影響 （高齢者・小児・既存疾患患者等）	
—		その他の健康影響	上記のいずれにも該当しない場合や、国民になじみにくい内容については、 特出しせず同項目にて取扱う。	
産業・ 経済活動	製造業	—	—	
	エネルギー	エネルギー需給	エネルギー需給	
	商業	—	—	
	金融・保険	—	—	
	観光業	レジャー	レジャー	サクラ、紅葉等自然を主要な観光資源とした知見を含む。
	建設業	—	—	
	医療	—	—	
	その他	その他（海外影響等）	海外影響 その他	企業のサプライチェーン等を通じた海外の気候変動による影響
国民生活・ 都市生活	都市インフラ、 ライフライン等	水道、交通等	水道、交通等	鉄道や水道事業などは国民生活・都市生活への影響が大きいため、本項で 扱う。
	文化・歴史など を感じる暮らし	生物季節、伝統行事・ 地場産業等	生物季節、伝統行事・ 地場産業等	
	その他	暑熱による生活への影響等	暑熱による生活への影響等	

※小項目としては取り扱わないが、複合災害について影響評価報告書の本文に記載